

アレルギー分析報告書

試験依頼社名

ニチニチ製薬株式会社 中央研究所

518-1417 三重県伊賀市富永239番地1号

TEL : 0595-48-0201

FAX : 0595-48-0209

E-mail : elisa@nichinichi-phar.co.jp

依頼日: 2011年01月17日

アレルギー量の分析結果を以下の通り、報告致します。

* スギ花粉アレルギー(Cry j 1)

測定者

検体名	反応溶液のCry j 1濃度 (ng/ml)
次亜塩素酸ナトリウム 10ppm、10分間	0.39 未満
次亜塩素酸ナトリウム 10ppm、5分間	0.95
次亜塩素酸ナトリウム 10ppm、1分間	1.11
被検液 (pH 5.6) 10ppm、10分間	0.39 未満
被検液 (pH 5.6) 10ppm、5分間	0.39 未満
被検液 (pH 5.6) 10ppm、1分間	1.09
被検液 (pH 4.6) 10ppm、5分間	0.39 未満
被検液 (pH 4.6) 10ppm、1分間	0.39 未満

備考:

・無処理での理論値は6.25ng/mlとなりますが、検体を精製水に置き換えたブランク試験値は4.42ng/mlとなりました。

<試験概要は2ページ目に記載>

◇弊社は当分析結果に限り責任を負うものであり、分析結果の取り扱い或いは分析結果によって生じる問題に関与するものではありません。

◇本報告書の内容を他に掲載するときには、弊社の承認を受けて下さい。

<試験概要>

■方法

スギ花粉アレルゲン溶液(Cry j 1; 625ng/ml)と33倍量の各検体を混合し、1、5または10分間反応させた後、検体の2倍量のチオ硫酸ナトリウム溶液で10分間中和した。中和後、溶液中のCry j 1濃度をELISAにて測定した。また、検体を精製水に置き換えてブランク試験とした。

■結果

Cry j 1濃度の測定結果を以下に示した。

検体名/反応時間	1分間	5分間	10分間
次亜塩素酸Na 10ppm(pH 8.1)	1.11	0.95	0.39 未満
被検液 10ppm(pH 5.6)	1.09	0.39 未満	0.39 未満
被検液 10ppm(pH 4.6)	0.39 未満	0.39 未満	----

[単位: ng/ml]

ブランク試験値: 4.42

■コメント

本試験では試験の性質上、アレルゲンの保護剤やpH緩衝剤を用いられなかったため、ブランク試験値が、理論値(6.25ng/ml)より下回りました。アレルゲンの失活、容器への吸着などが原因と考えられます。

以下、余白

◇弊社は当分析結果に限り責任を負うものであり、分析結果の取り扱い或いは分析結果によって生じる問題に関与するものではありません。

◇本報告書の内容を他に掲載するときには、弊社の承認を受けて下さい。